

## 活動報告

団体名	公益社団法人北海道社会福祉士会
活動名	北海道胆振東部地震災害支援の活動
活動期間	2018/09/9 ~ 2019/03/31
活動の成果	<p>厚真町はどの地区も祖父母、それより以前から出来上がっている地域が多く、地域の結束力が非常に強いことが特徴である。しかし当会がニーズ・アセスメント調査に入った地区は 20 年ほど前からの移住者の集落であり、厚真町とのつながりが希薄な地域であった。精神的にも経済的にも移住前の生活を清算して安住の地として求めた地域であり、厚真町の他の地区とは行政とのつながりや地域の持つ力に大きな違いがある。当会で調査のためきめ細かく訪問することで人々の本音や、不安な気持ちの聞き取りなどを行い、アセスメントを行った。介護サービスが必要な方を包括につなぐこともできた。また人々にこの地域を自分たちで立て直そうという空気を作ることに力を貸すことができた。リーダー的存在の方を中心に住民の自主的な訪問活動が生じるなどの成果が見られた。</p> <p>災害ボランティアセンターでの活動は厚真町社協との連携で行った。当会で作成した日報が災害ボランティアセンターの初動の記録として使うことができると評価された。</p> <p>年明けからの活動においては会の立場としての活動であることから、立ち位置を再度確認し、今後 NPO 団体などとの連携をどのように行ってゆくかが課題となると考える。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>大規模災害に支援を行う際に大きな課題の一つに、必要な経費をどう捻出するかがあります。特に広大な北海道は支援に入る際にも、往復の距離 600 km、往復 10 時間をかけて支援に赴く例が何例もあります。特に今回の厚真町は鉄道がなく、車で動く以外手段がない、さらに高速道路の利用も必須となれば、派遣にかかる経費が支援者派遣の最大の課題でありました。当会では最も近い千歳市に支援拠点としてウィークリーマンションを借り上げ、ボランティアの宿泊施設として利用しました。このような課題を持ちつつ派遣を行っていましたが、皆様方の寄付により、いただいた資金で当会ベストの購入、交通費、ウィークリーマンション借り上げ経費などを賄うことが出来、本当に感謝しております。皆様方のご寄付により培った経験を次の災害に生かすよう今後も努力してまいります。本当にありがとうございました。</p>

(活動のようす)

